

「スーパースター」導入で業務効率が大幅アップ 飲食売上げ40%増、人件費7%削減を達成

(株)スターランド「スーパースター」導入店レポート

全国のレジャー・サービス施設で 導入が進む 「スーパースターシリーズ」

(株)スターランドが開発・販売するフロントPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケ店をはじめ、温浴施設や複合カフェ、キッズランド、飲食店、ホテルなど、レジャー・アミューズメント施設向けに12種類のバージョンがラインナップされている。セルフオーダー端末「スーパースターNAVI」をはじめ多彩なオプションを活用できることも魅力で、導入実績では2,500件を超えるヒットシリーズとなっている。

「SUPER WAVE 静岡店」 ——カラオケ、ゲーム、ダーツ等の 複合施設に導入

「SUPER WAVE 静岡店」は今年5月、POSシステムに「スーパースター」を導入した。同店は、国道1号線沿いロードサイド立地の、1階がパチンコ・スロット「MARUHAN草薙アピア店」、3階がボウリング場「ボウルアピア静岡」(52レーン)の複合レジャー施設「プラザアピア静岡」(経営体：(株)マルハン)の2

階で営業を行ない、カラオケ(30ルーム)のほか、ゲームセンター、ビリヤード(12台)、ダーツ(8台)、シミュレーションゴルフ(2台)、飲食店、売店で構成されている。

同店の店長であるマルハンL&A営業部の清水陸士氏は、スーパースターの導入経緯について、次のように語る。「スーパースターについては、『レジャー&サービス産業展』でスターランドさんの展示ブースを見て知り、カラオケ店のほか各レジャー施設で豊富な実績がありましたので導入することにしました。それまで他社のPOSシステムを使用していたのですが、飲食オーダーは電話で受け付けていたためフロントスタッフはその対応に追われ、十分な接客サービスができていませんでした」。

スーパースターの導入効果はすぐに現われた。運営面では、5月の人件費を対前年度93%と7%削減することに成功。これは、POSシステムの刷新に合わせて飲食のセルフオーダー端末「スーパースターNAVI」を導入したことで、フロント業務の効率が上がった

ルーム改修、POSシステムの刷新など、カラオケの営業強化を推進する清水陸士店長



ことが大きく貢献しているという。また飲食のオーダー業務の煩雑さから解放されたことでスタッフの心に余裕が生まれ、接客サービスに注力することで来店者の顧客満足度も上がっていると清水店長は指摘する。飲食の売上げについても、飲食メニューの充実を図ったこともあって、対前年度比140%と大幅に増加した。

同施設では昨年8月にカラオケルームのリニューアルを行ない、全室趣向を凝らしたデザインに変えたことで集客効果(とくに若い女性客)はかなり出てきている。実際、今年4~6月の売上げは前年度に対して約2割アップした。

また注目されるのがフロントでのモニターによるルームの案内表示だ。POSシステムと同時に導入したものだが、全30室を写真で表示し、空いているルームを客が選ぶという斬新なシステムだ。「以前は、ルーム写真を掲載した用紙をお客さまが来るたびに見せていましたが、モニター表示にしてからはお客さまがモニターを見て選んでくれますので、フロント業務はかなり効率的になりました」。

同店では今後も販促イベント等を行ない、複合レジャー施設としての強みを活かしながら、カラオケの地域一番店を目指すとしている。

(株)スターランド
〒426-0037 静岡県藤枝市青木3-14-1
☎0120-007-009
FAX.054-644-5034
URL <http://www.starland.co.jp>

問い合わせ先



女性を意識したデザインを採用することで女性客が大幅に増えた



カラオケやビリヤード、ダーツなどのアイテムも一括精算できるシステム



フロントにモニターを設置し、全客室を写真で表示している



内線による飲食オーダー受注の非効率を解消するために導入されたセルフオーダーシステム